

県外派遣報告書

審判員名	竹澤 友美	所属	ミニ連	
大会名	第68回国民体育大会 関東ブロック大会			
期間	平成25年8月24日(土)・25日(日)			
会場	横浜文化体育館			
スケジュール				
期 日	内 容	場 所		
8月23日(金)	審判会議	平沼記念レストハウス		
8月24日(金)	1回戦	横浜文化体育館		
	レクチャー	平沼記念レストハウス		
8月25日(金)	準決勝・決勝	横浜文化体育館		
会議 講義 内容				
<p>8月24日(金)レクチャー:</p> <p>○関東バスケットボール協会 副審判長 久保裕紀氏 今大会は東京・関東A級研修会を兼ねている。日本協会より講師にお越しいただきレクチャーをいただきます。</p> <p>○日本バスケットボール協会 講師 湯浅暢宏氏 この講習会を受けたからといって審判技術が上がるわけではない。日ごろの努力を1年通して行うことが自分の力になる。講習会をキッカケとしてStep upしてほしい。</p> <p>○日本バスケットボール協会 講師 松本隆志氏 割当連絡が来て試合前日に眠れないというよりも、試合が終わった当日に眠れない、悔しい想いをたくさんすることが自分を成長させてくれる。</p> <p>※内容別紙</p>				
担当試合	期 日	8月24日(土)	男子 (女子)	少年女子
	対戦カード	神奈川県 VS 茨城県	主審	(副審)
	相手審判	河野 仁 氏(山梨県)		
ミーティング内容 主任 松本隆志 氏(日本協会)・小澤 勤 氏(山梨県)				
<p>松本隆志氏(日本協会):感じたことを表現したことを次にどうしていくか。トレイルの位置取りについてエリア1からのドライブを右斜め後方から追っていくことがある。エリア3の見かたと合わせて工夫が必要である。</p> <p>小澤勤氏(山梨県):吹いたものについて、状況や質を見極める必要がある。ベンチへの対応について、1つ目のベンチからのアピールに対しハッキリと対応し必要があれば対処できるようにする。</p>				
担当試合	期 日	8月25日(日)	男子 (女子)	少年女子
	対戦カード	千葉県 VS 栃木県	U2	
	相手審判	R:山田 巧 氏(神奈川県)・U1:小坂井 郁子 氏(神奈川県)		
ミーティング内容 主任 湯浅 暢宏 氏(日本協会)・針生 淳男 氏(指名)				
<p>湯浅暢宏氏(日本協会):将来日本代表として海外の選手と対戦する可能性が大きい選手に対して、触れ合いを起こされていても本人が意図するPLAYがまだ妨げられていない現象について、ファウルを取り上げてフリースローを与えることは考えなくてはならない。</p> <p>針生淳男氏(東京都):スリー・パーソン・メカについてエリアを再認識し、自分が目を当てるべきエリア・PLAYを意識すること。触れ合いについて吟味が必要。</p>				
全体の感想				
<p>東京・関東A級研修会を兼ねている今大会に派遣していただき、大変感謝申し上げます。日本協会より湯浅氏、松本氏にお越しいただき、レクチャーを初め各試合後の講評においてもたくさんのお話を聞く機会をいただくことができました。湯浅氏の視野の広いお話や、実際に試合であった出来事についてのお話は大変興味深いものでした。松本氏からは現役レフリーの立場から力強くお話をいただきました。この大会を通し感じたことをこれから上級審判を目指す方々に伝えるとともに、公平公正に一貫した判定力を目指し、信頼される審判員になるために今後も努力してまいります。</p> <p>最後になりますが、神奈川県の皆様には温かくお迎えいただき、大会2日目には神奈川のお二方とご一緒させていただき大変貴重な1試合となりました。また、急な悪天候にもご対応いただくなど細部に渡りお気遣いをいただきました。運営に携わりお手伝いいただきました県内審判員の方々の多さに、神奈川県のご結束の強さと皆様の向上心の高さを感じました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。</p>				